

Makuhari's Memory

『文化芸術』とは。全国の仲間と語り合った熱い5日間!

令和7年1月20日～24日の5日間にわたり、「文化芸術の活用による地域社会の活力の創造」研修を受講しました。本市の文化振興課に配属されて2年目でまだまだ経験が浅いので、担当業務や今後市で実施する事業の参考になればと思い、参加を希望しました。

各自治体での『文化芸術』の業務は多岐にわたり、受講生の方も施設管理、生涯学習を担当している方から文学館や図書館の学芸員の方など、幅広い分野・年代の方がつどい、代表幹事の方を中心とした受講生同士での情報交換は、とても刺激的なものでした。

講義では、平田オリザ先生をはじめ、各分野に精通した講師の方々の貴重なお話を聴くことができ、行政として『文化芸術』を通じて人や活動をつなげていくことが重要であると感じました。また、課題演習では、

発表に向けて班ごとに課題や解決策について話し合い、時には夜遅くまで発表の準備に励んだことは、本当に良い思い出です。

短い期間の中で、受講生の皆様とはまだまだ語り足りない部分もありましたが、職場ではなかなか経験できない密度の濃い5日間でした。この研修で得た知識や経験、何より受講生の皆様とのつながりを糧に、これまで以上に業務に励みたいと思います。最後になりますが、講師の皆様、市町村アカデミーの職員・従業員の皆様、

快く送り出してくれた職場の皆様に感謝いたします。そして、受講生の皆様、文化芸術を通じた地域発展のためにお互い頑張っていきましょう!



秋本 卓哉

大阪府茨木市
市民文化部文化振興課政策係主査
(受講研修科目)
文化芸術の活用による地域社会
の活力の創造
第38期第1組(令和6年)

Makuhari's Memory

「知識・経験・仲間」を得られた充実の5日間!

令和7年1月20日～24日の5日間、「観光戦略の実践」研修を受講しました。5日間であったものの、終わってみれば非常に短いと感じるほど内容の濃い研修で、充実した日々を過ごすことができました。どの講義も今後の観光施策を進めていく上で非常にタメになる話ばかりで、特にインバウンド、交流人口の増加、地方創生など、これまでぼんやりとしか分かっていなかったものが、研修によりはっきりと理解できたと思います。そして、各講義で学んだ内容を理解・定着させるために、課題演習を行うことはとても有効であると感じました。研修の参加者全員が自主的かつ建設的に議論を行い、多面的な視点で観光戦略を見つめ直すことができました。そして演習を通じて、様々な刺激を受けると同時に、これまでにない新たな気づきを得ることができ、“魅力ある新たな観光コンテンツ開発に向けた実践経験”を積めたことが、大きな財産となりました。

それから、代表幹事という大役を務めることになるとは全く想像していませんでしたが、副幹事をはじめ、受講者全員の協力によって無事、その務めを果たすことができました。今回の研修で繋がった全国各地のみなさんとは、今後も交流を続けて情報交換を行うなど、このご縁を大切にしていきたいと思います。

最後に、市町村アカデミーの職員の皆様、講師、担当教授、副幹事、座長の方々、そして快く送り出してくれた職場の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



黒部 公太

愛知県西尾市
交流共創部観光文化振興課主事
〈受講研修科目〉
観光戦略の実践
第38期第1組（令和6年）